

中央公園の樹木管理について

【ご意見】（令和6年4月12日受付）

私は中央公園の近くに住んでおり、散歩に公園及び周辺を利用しています。木々の種類も多く、ちょっとした小さな山もあり、楽しく歩いています。春先のアズキからサクラへと花のリレーも楽しみな一つです。

ただ、木が混み合っており、枝と枝が重なり、葉が出揃うとうっとうしく感じます。かなり頻繁に剪定等を行っている様ですが、この際思いきって全体の木々の1/3～1/4程度を間引きし。スッキリさせたら、後の管理（落葉の処理など含め）回数も減少し維持管理費の削減にもつながると思います。一考をお願いします。（木は年々太く、高く、広く枝を張ります。）

特にシラカシは間引くと共に、樹高をかなり低くすると良いと思います。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

ご提案いただきました樹木の管理については、快適で安全に公園をご利用いただける様、定期的に剪定等を行っています。

当公園は昭和54年に開設され、およそ45年が経過し、開園当初に植樹した木々は大きく成長し、四季の移り変わりとともに様々な風景を楽しむことができる反面、高木・老木となった木々については、枯枝の落下や倒木の危険性があることから、今年に入り倒木の危険性の高い樹木については何本か伐採を行いました。

今後も管理の方法や伐採の必要性について、専門家とも相談しながら計画的な樹木の管理に努めてまいります。

担当 都市計画課